

ふれあい新聞

新年号

酉



くわがいディサービスセンター
佐々木穂様作

発行日 平成 29年1月1日 第64号

発 行 社会福祉法人 瑞穂会

ふれあい新聞編集部

本 部 〒444-0936

岡崎市上佐々木町字大官49番地

TEL (0564) 34-3666

FAX (0564) 34-2347

～新年のご挨拶～

平成二十九年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、私たち社会福祉法人瑞穂会の運営に対し、ご利用者・ご家族の皆様方、地域の皆様並びに関係諸機関の皆様の多大なるご支援・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。私ども瑞穂会も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新年を迎えることができました。

さて、昨年3月に成立した改正社会福祉法により、本年4月より社会福祉法人には、ガバナンスの強化、透明性の確保といった名目で、様々なルールが課せられることになりました。評議員会の必置や段階的に会計監査人の導入、役員報酬基準や財務諸表等の情報公開、地域における公益的な取組を実施する責務等が義務付けられ、地位に根ざした社会福祉法人としての在り方が改めて問われることになりました。

また、平成三十年改正に向け議論を重ねている介護保険制度においては、利用者負担のあり方（能力に応じた負担への見直し）、

給付のあり方（軽度者向けのサービスの見直し）等について議論されておりますが、自立支援の名のもと、負担増と給付抑制に向け、非常に厳しい内容が予想され、さらに、4月からスタートする新しい総合事業への移行についても、先行きは不透明な部分が多く、今後の法人・施設運営環境はますます厳しさを増すと思われます。

このように、これまで以上に厳しい状況が見通されますが、瑞穂会は、本年5月、矢作地域の皆様のご期待に応えるべく、当法人としては4か所目の特養である「小規模特別養護老人ホーム第三やはぎ苑（定員29名）」を、既存の第二やはぎ苑北側隣地に開所、矢作地域の福祉の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。

今後も、ご利用者の皆様、地域の皆様及び関係諸機関等のご期待に沿うよう、質の高いサービスを提供するよう努力してまいりますので、本年も更なるご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十九年 元旦

社会福祉法人 瑞穂会

理事長 手嶋 寛人

～ 面会の皆様へのお願い ～



瑞穂会では例年通り、感染症対策として面会の皆様には面会前のエアタオル手指消毒・うがいをお願いしております。

また、発熱や咳などの症状のある方につきましては面会を自粛していただきますようお願い申し上げます。

また今年度、大きな流行になっているノロウイルスは遺伝子に複数の変化がおきて、ヒトへの感染の危険性が高まっているおそれがありますのでご注意ください

「EPAの取り組みについて」

介護主任　岡田進太郎

今日、人材の確保・育成することは日本のとの企業にとっても大きな課題となり、介護業界においてはさらに厳しい現状となっています。現在、瑞穂会では特別養護老人ホームくわいにおいてEPA（経済連携協定）に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れに向けて注力しています。

EPAとは日本と外国（インドネシア、フィリピン、ベトナムの3ヶ国）における原則として外国人の就労が認められない分野（看護補助分野・介護分野）において、一定の要件（母国の看護師資格など）を満たす外国人が、日本の国家資格の取得を目的とする条件として、一定の要件を満たす病院・介護施設（受け入れ施設）において就労・研修することを特例的に認めるものです。

今後も施設で暮らす入居者様の生活を支えていくために、介護の現場には専門的な知識、技術を持った日本人職員だけではなく、外国人の力も必要となつていくと思われます。そこで、十二月八日にベトナムの首都ハノイにてEPA候補者を対象にした現地合同説明会が開催され、そちらに参加させて頂きましたのでご報告をさせて頂きます。



～会場となったハノイグランドプラザホテル～



くわい

説明会では候補者200名程の参加者の中から約50名の候補者に法人の歴史から運営方針、くわいの施設紹介、さらには居住環境や岡崎市の紹介をスライドショーを交えながらお伝えしました。

説明会に参加された候補者のほとんどが現在勉強中の日本語で『働く上で気を付けること、大切にすることは何ですか?』『どのような状態の方が入られていますか?』などと業務上の質問から、『海は近くにありますか?』『アパート周辺の住環境はどの程度(駅やスーパー等)?』などと具体的に暮らしのイメージ交えた質疑応答を通訳を交えながら行いました。

どの候補者にも共通するのが一所懸命に質問をされており、日本で働きたいという意欲をとても強く感じることです。また、質問の一つ一つから家族を思う気持ちや働く者としての心構えも感じることができ自分自身も感化された説明会になりました。



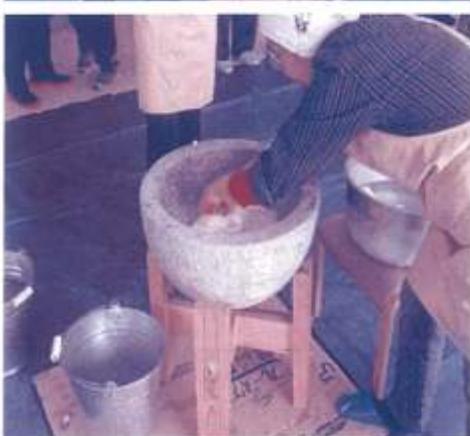
～面接の様子～



縁あってEPA候補者がくわいで介護者として働くことが決まった際には、介護のノウハウを教えるだけではなく、日本語の教育から介護福祉士取得のためのサポート、さらには日常生活面でのサポートも必要になります。そのため、研修体制の見直しやサポート体制を整えていくことが今後の課題となってきたます。日本人介護士だけでなく外国人介護士にも働きやすい環境を整え、入居者様にはより良い生活を送って頂けるように努めてまいります。



もちつき



今年も、この時期になると入居者の皆さんのが楽しんでいる餅ついて、十二月六日お昼過ぎから、2階デイルームに於いて、ケアハウスやグループホームの皆さんも参加して、賑やかに行われました。

毎年もち米は蒸し器で蒸していたのですが、今年は初めての試みでス



ンオープンを使つてみました。
ところが、もち米に対しても水が多い多すぎたのか、

米に水が多くて、杵がなかなか手返しがでうまく手返しができなかつたり大変苦労されていましたが、なんとかついていただき、出来上がつたお餅を早速きな粉や大根おろしをまぶすために、小さく丸め

るのですが、これがまた柔らかすぎてしまい、お手伝いに来ていただいたボランティアの方々が心から「おいしいねえ」と言つて頂けるよ

秋の散策

（日時）
十月十九日

（場所）

岡崎公園三河武士の館 「家康館」・
八丁味噌の郷見学

（参加者）
入居者 四名
付添職員 五名

（参考）
八丁味噌見学では、みそ樽の大きさに匹敵する！
笑いの絶えない楽しい散策でした。



ふかみ一座「やはぎ苑公演」

十一月十四日(水)



毎年十二月になると一年間の感謝を込めて、午後からレクリエーションで、マジック・歌と踊り・オカリナ・生バンドの演奏等をお招きして楽しんで頂いていますが、今年大いに盛り上がつたのが、初めて能見町よりお招きしている「ふかみ一座」の「やはぎ苑公演」でした。

デイサービスホームでは、グループホーム・シヨウトステイ・ケアハウスの皆さんもご



招待して、会場は熱気で溢れかえっています。オープニングは、「皆の衆」の歌が始まると、「長良川艶歌」の歌と踊りへと続き、やはり演技慣れている方々

が慣れています。招待して、会場は熱気で溢れかえっています。「皆の衆」の歌では始まり、「長良川艶歌」の歌と踊りへと続き、やはり演技慣れている方々



は職員も飛び入り参加で、相撲の呼

はう間に過ぎて、最後の演目は、都是るみさんの大ヒット曲「好きになつた人」を会場にいる人全員で歌つて公演は幕をとじました。



び出しの真似をしました。実際にやつてみると、これが意外と難しく会場は大爆笑、その後ふかみ一座の方がやるとその差は歴然としていました。

更にすばらしい相撲甚句やご当地甚句も歌つて下さり、暫くの間感動

「ふかみ一座」の皆さん楽しい時間を本当にありがとうございました。

今年も、皆さんに喜んでいただけ

るレクリエーションを企画していく

ますのでよろしくお願いします。

グループホーム

かみさの家

あけまして おめでとうございます 本年もグループホームかみさの家を
何卒、よろしくお願ひ致します。

～昨年の活動内容～



『島坂保育園交流会』



『夏の風物詩 やはぎ苑夏祭り』



『かりんを漬けました』



『竹島水族館へ小旅行』



『地域文化祭に出展』

インフルエンザやノロウイルスの心配の時期ではありますが、感染予防に努め利用者の
方々、職員一同、良い1年にしたいと思って
おります。

そして、今年も地域のコミュニティー作りや
交流への参加を積極的に行っていきたいと
思っております。

水害時避難訓練

平成28年度第4回運営推進委員会にて、水害時の避難訓練を実施しました。矢作南地区に避難準備情報が発令したという想定で、やはぎ苑の2階食堂へと避難を行なっています。日中の職員がいる時間帯での訓練で、避難手順と避難路、貴重品・非常用備品の確認を行ないました。

まずは、パニックにならない様に落ち着いて避難を行ないましたが、想定以上に時間がかかったことや、風への対策不備などの問題点があがりました。今回あがった問題点も踏まえ、今後もあらゆる事態を想定した訓練を、毎月実施して問題点を改善してまいります。

また、運営推進委員会としても、「地域住民への呼びかけや資源の活用」を見直す良い機会となりました。



<避難経路の確認>



<ゴミ袋製の簡易防水頭巾>

誕生日会

かみさの家では、毎月、利用者様のお誕生日のお祝いしています。

お一人お一人に寄り添うケアを心掛けていますが、それだけではなく、

各ユニットごとやかみさの家全体で、利用者様、ご家族様、職員の絆が少しだけ深くなればと、取り組んでおります。

お誕生日のような特別な行事だけではなく、日常においても

かみさの家の皆様が、1つの家族として生活して頂けるように支援してまいります。



第二やはぎ苑

稲刈り・収穫祭を開催しました



用意し、また今年は、ポン菓子の実演も行いました。併せて、岩津高等学校オーケストラ部による演奏会も開催し、皆様にお楽しみいただきました。

地元の農家さんと一緒に、田植えから取り組んできたお米づくりが、実りの秋を迎え、10月8日、稲刈りをしました。

鎌を使って一束ずつ刈り取り、束ねて[はさがけ]にし、天日干しをしました。

今回も、子どもたちが大活躍でした。

11月6日、収穫祭を開催し、ご家族や地域の方々ともご一緒に今年の収穫をお祝いしました。

新米のおむすびや、こだわり素材の豚汁をご



矢作北小学校演奏会

12月3日、矢作北小学校音楽部の皆さんによる、金管楽器演奏会が第二やはぎ苑でありました。

矢作北小学校の音楽部は、部員数の減少で、今年度末で廃部が決まっており、最期の地域交流活動として第二やはぎ苑で演奏を披露してく



ださいました。翌朝の中日新聞朝刊に今回の演奏会の記事が掲載されました。



口腔ケアの充実

第二やはぎ苑では、ご入居の皆さんの口腔ケア充実に努めています。

【口腔ケアの目的】

- ・口の中がサッパリして気持ちいい。
- ・食事がおいしく食べられる。
- ・肺炎など病気を予防できる。
- ・姿勢が整い、体に力が入れられる。

普段の口腔ケアの積み重ねが、生活全般の質の向上につながります。

毎月一回、歯科衛生士さんからケア方法の指導を受け、ケアの充実に努めています。



～新年のご挨拶～

平成二十九年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、私たち社会福祉法人瑞穂会の運営に対し、ご利用者・ご家族の皆様方、地域の皆様並びに関係諸機関の皆様の多大なるご支援・ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。私ども瑞穂会も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新年を迎えることができました。

さて、昨年3月に成立した改正社会福祉法により、本年4月より社会福祉法人には、ガバナンスの強化、透明性の確保といった名目で、様々なるルールが課せられることになりました。評議員会の必置や段階的に会計監査人の導入、役員報酬基準や財務諸表等の情報公開、地域における公益的な取組を実施する責務等が義務付けられ、地位に根ざした社会福祉法人としての在り方が改めて問われることになりました。

また、平成三十年改正に向け議論を重ねてある介護保険制度においては、利用者負担のあり方（能力に応じた負担への見直し）、

給付のあり方（軽度者向けのサービスの見直し）等について議論されておりますが、自立支援の名のもと、負担増と給付抑制に向け、非常に厳しい内容が予想され、さらに、4月からスタートする新しい総合事業への移行についても、先行きは不透明な部分が多く、今後の法人・施設運営環境はますます厳しさを増すと思われます。

このように、これまで以上に厳しい状況が見通されます。瑞穂会は、本年5月、矢作地域の皆様のご期待に応えるべく、当法人としては4か所目の特養である「小規模特別養護老人ホーム第三やはぎ苑（定員29名）」を、既存の第二やはぎ苑北側隣地に開所、矢作地域の福祉の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。

今後も、ご利用者の皆様、地域の皆様及び関係諸機関等のご期待に沿うよう、質の高いサービスを提供するよう努力してまいりますので、本年も更なるご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。末筆ながら、皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

平成二十九年 元旦

社会福祉法人 瑞穂会
理事長 手嶋 寛人

オレンジカフエ通信

十一月十七日に第四回目のオレンジカフエを開催しました。今回は「指先を使つた認知症予防」をテーマに行いました。

ご存知の方も多いと思いますが、認知症を予防するにはとにかく脳を刺激すると良いと言われています。指先は繊細な動きが必要なため多くの神経細胞が集まっており、それらが脳に繋がっています。つまり、指先を使つた運動は脳を活性化させるのに効果的であると言えます。

今回は、箸を使つて小豆を運ぶ競争や、マスキングテープを使つた一輪挿し作り等の日頃あまり行なうことがないであろう細かい作業を通して参加していただいた皆さんに楽しんでいただきました。きながらたくさん指先を使つていただきました。その後の交流会では、ご自宅で介護をされていらっしゃる方のお話も伺い、私たちも改めて認知症ケアについて考える良い機会となりました。次回は一月十七日に開催です。是非お越し下さい。



「ありがとうございました」

寄附・ご寄贈（誠二十八年十月）

誠二十八年十二月

小池 宏芳 様

奥田 鎮夫 様

田中 萬里 様

匿名希望 様



編集後記

その年の世相を漢字一文字で表す年末恒例の『今年の漢字』が前年を約2万4000票上回る15万3562票もの中から『金』が選ばされました。選考理由について同協会は「リオ五輪に沸き、東京五輪に希望を託した『金』（キン）と、政治と『金』（カネ）問題に揺れた年。スポーツ界に新たな金字塔、マイナス金利初導入、シンガーソングライターの金色衣装などにも注目が集まる」としたそうです。

揮毫した清水寺の森清範貫主は「国民は活躍した日本人をよく見ているのだなと思った。来年は自然災害や事故のないような年になることを祈ります」と語ったように瑞穂会で働く私たち一人一人がそれぞれの役割を自覚し、日々起こる全ての事に対し真摯に向き合うこと、小さな活躍を積み重ねていく事で関わらせて頂く全ての方々の日常が平穏になるよう努めていきたいと思います。